



全国スキー協通信

〒114-0014 東京都北区田端 1-24-22 山柿ビル 3F TEL 03-5842-1931

URL <http://www.mmjp.or.jp/wsaj> e-mail wsaj@post.email.ne.jp

2023年10月1日 No.516 発行責任者 小川洋 編集 芦村憲一

【郵便振込み】口座番号：00180-7-82138 加入者名：全国勤労者スキー協議会

全国スキー協第33期 第5回常任理事会議事録

2023/9/25 全国スキー協理事長 小川洋

日時 2023年8月21日 19:30～ 場所 ライブ会議（ZOOM会議）

参加 和田、荻原、池田、伊藤、岡田、小川、梶並、加藤、佐藤、島崎、菅沼、杉田、関根、関谷、東山、福島、三浦
議長 加藤さん（持ち回り）

◎議題

1. この間の日程

- 8月24日 東海B会議
- 8月26日 スポーツ連盟全国理事会 ZOOM
- 8月28日 第50回競技大会第1回実行委員会 19:30～ ZOOM
- 9月2～3日 全国山スキー部会 神戸
- 9月11日 第50回競技大会第2回実行委員会 19:30～ ZOOM
- 9月18日 POW「ワタシのミライ」代々木公園 小川リアル参加予定
- 9月19日 第1回全国競技部会

2. これからの日程（常任理事会は毎月第3月曜日 ただし祝日の場合は次週に変更）

- 9月30日 関西B会議 京都
- 10月7日 青森スキー協総会、岩手総会
- 10月10日 第50回競技大会第3回実行委員会 19:30～ ZOOM
- 10月16日 第6回常任理事会
- 10月20日 ス安対総会+理事会 小川リアル参加 14:00～ 索道協会

3. 報告・討議事項

- 9月18日「ワタシのミライ」約8,000人参加、山スキー部中心にスキー協から15人参加（4頁）
アンバサダー清澤さん、POW事務局 小松さん、脊戸柳さんと懇談
青年の参加が圧倒的に多い。POWとの総合交流で若いスキーヤー・スノーボーダーとの接点を

4. 総会決定の実践

- 全国スキー協ホームページのリニューアル 実行委員メンバーの選出
責任者：小川、岡田+アルファ 現在コンセプトの練り直し中
都道府県組織でホームページの無い組織
東北B 青森、岩手、（秋田、山形、福島、宮城）青森・岩手はページ作成/
関越B 栃木、新潟 ページ作成/ 東海B 三重、岐阜、静岡 ブロックのページは必要
北信B 長野、福井、富山、石川 無回答/ 関西B 奈良 無回答/ 九州・中国B 福岡 無回答

●第50回全国競技大会の主管

第2回実行委員会議事録を参照（2頁）

指導員部 指導員登録の状況

技術部 全国常任技術部会報告

山スキー部 常任部会の報告

競技部 9月19日に開催。議事録参照（2～3頁）

第2回 第50回全国スキー・スノーボード競技大会実行委員会議事録

2023年9月11日

◎決定事項

場所 湯の丸スキー場 バーンは例年と同じ
日時 2024年2月24～25日、23日前日練習も確保
宿泊 湯の丸高原ホテル（メイン）60～80人分確保 地藏荘にも協力依頼
主管 全国スキー協
実行委員は全国常任から荻原、小川、伊藤、杉田、関根、菅沼、東山、梶並
それ以外に関東B、関越B、北信B各県から1～2名を選出
千葉 佐々木睦昭さん / 群馬 競技部長 土屋さん / 栃木 清水さん / 長野 足立さん /
東京 長谷川かよ子さん / 埼玉 北村純一さん / 神奈川 齋藤翔平さん / 新潟 大塚太さん
役員 大会会長 和田利男（全国スキー協会会長） / 実行委員長 小川洋（全国スキー協理事長）
事務局長 ? / 競技委員長 土屋昌一さん
T D 土屋昌一さん / ジュリー 小川、土屋、セッター
セッター 外部も含めて検討 愛知にも打診する
種目 1日目：大回転セット替えあり2本の合計タイムで表彰 個人表彰+団体表彰
2日目：大回転セット替え無し2本合計タイムで表彰

クラスをどうするか？

- ・昨年と同様 5歳刻み
- ・クラスを増やす
- ・大会初めて参加クラス
 - スキー場と相談 3歳児とか4歳児も検討 伊藤みどりさんがスキー場と相談
 - 一般向けデジエントリー復活

レセプション 会場は確保済（土曜日夜）

50回記念でスペシャルな事を行うか？

- ・清澤恵美子さんに前日練習コーチ、セッター、前走、記念講演 ●小川交渉
- ・くじ引き、抽選
- ワックスメーカー呼ぶ？ ●クラブに相談 小川

賞状・賞品・メダル クラブに賞品を依頼？

メダルはジュニア、小学生低学年、大会初めてクラスのみ ●スキー協在庫確認 伊藤さん

副賞1日目は足立さんにお米とリンゴ

- 2日目はクラブと相談 広告とバーター相談 小川交渉

その他 次回の会議は10月10日（火）19:30～

2023-2024 全国競技部会議事録

2023年9月15日 競技部事務局 杉田厚（代理：小川洋）

競技部会登録メンバー（赤文字が参加者）

大野祥子（北海道）小川洋（青森県）大塚太（新潟県）土屋昌一（群馬県）宮本貞之（埼玉県）秋田裕也（栃木県）佐々木睦昭（千葉県）長谷川かよ子（東京都）齋藤翔平（神奈川県）神山耕一（静岡県）澤田安利（愛知県）小島功（滋賀県）坂下和彦（京都府）池垣憲二（大阪府）岸本高志（兵庫県）小割誠（奈良県）中岡滉（和歌山県）

第33期役員

荻原正治（副会長） 小川洋（理事長） 杉田厚（競技部担当常任理事）

第33期の具体的活動の確認と共有

- 全国大会への競技部会としての協力体制は、何ができるか。
- セッター養成・検定会 / 研修会を例年通り4月に、野沢温泉スキー場で開催する為に。
- 競技部会のありかたを探りたい。
- 競技部長の選出 土屋昌一さん

◎議題

1. 副会長のあいさつ
2. 報告・提案 事項

①第50回全国スキー・スノーボード競技大会

【報告】

日時 2024年2月23-25（23日は前日練習）

場所 湯の丸スキー場

主管 全国スキー協常任理事会（協力：関東B、関越B、北信B）

内容 23日 清澤恵美子さんによるポールレッスン+夜のミーティング セッター・コーチ：清澤恵美子さん

24日 GS 2本（セット替えあり、セッター清澤恵美子さん）セット+前走+夜の表彰式+レセプション参加 記念講演「テーマ：子供たちとスキーのミライ（仮）」 24日単独で個人表彰ならびに団体表彰

25日 GS 2本（セット替え無し、セッター清澤恵美子さん）セット+前走 25日単独で個人表彰（団体表彰は行わない）

この報告に対し京都の坂下さん、愛知の澤田さんから強い反対の意見がありました。

- SL を楽しみにしている参加者への背任行為だ。魅力が半減どころかそれ以下だ。
- SL の大会が減ってきている中でこそ全国スキー協が SL を行うことに意義がある
- 折角、清澤さんがコーチ・セットしてくれるのに SL がないのは納得できない。再考して頂きたい。
- セットを工夫すれば安全に行えるのではないか？
- GS 4本では飽きる。
- なんなら二日目は SL 1本でも良い
- 清澤さんがセットするときに隣にいてサブセッターを行えば研修扱いになる可能性があるが SL がなければ研修にならないのでは？
- 全国常任理事会で再考をお願いします。

*小川ならびに荻原さんから実行委員会での議論の内容も説明。それ以外に TD の位置づけの問題についての指摘がありました。競技委員長が TD を兼任するのは如何なものか？ TD の位置づけが曖昧で重要視されていない。スキー協の競技規則でも位置づけが不明確だ。という意見がありました。

【協議内容】

- ・競技部会としての協力体制（どう関われば好いのだろうか）人集めと安全面での助言は、各県の機能状況にあわせて行って来たとは思いますが、その他にできることは、ないのだろうか？
- ・競技部長を引き続き土屋さんをお願いしたい。了解されました。
- ・全国常任担当・事務局を杉田厚さん（決定事項）

②セッター養成検定会 / 研修会（正式発表は、規則にのっとり 10月中に行います）

【提案】

日時 2024年4月13-14日を提案予定

場所 野沢温泉スキー場

- 各県から1名ずつセッターを受験する人を募る努力をしないといけない。
- 宿とゲレンデについては事務局で対応をする

③競技部会のありかたについて

- 部会の頻度と目的について
- 競技の普及の為の各県の役割と全国の役目
- テストランを含む練習の機会と大会機会を増やす意義について

④次回競技部会について

- Zoom 会議が出来る環境があるのなら、2ヶ月に一度のペースで短時間行い、部会の協力者体制をつくれないうだろうか？ →年間複数回の会議開催で情報交換などをすることに決定しました。

「ワタシのミライ」 9.18 集会とパレードに スキー協から 14 人が参加

気候アクション「ワタシのミライ」は9月18日、代々木公園で行われ、主催者発表で8000人が、スキー協から12人が参加しました。この行動は、スウェーデンの環境活動家グレタ・トゥンベリさんから始まった未来のための金曜日（FFF）は今年で5年目を迎え、世界7500都市で1400万人が参加して



います。20日から始まる国連総会に対し気候危機対策を今すぐにとることをアピールする行動です。15日には独ベルリンに24000人、18日には米NYに75000人が行動し、化石燃料からの脱脚を訴えました。

私たちは18日の代々木公園では「雪山大好き!!」の手作り横断幕を掲げ、POWの参加者たちと一緒に渋谷の街をパレードしました。2011年3月の東日本大震災で爆発事故を起こし、核燃料のデブリの処理も出来ずに放射能汚染水を垂れ流している東電福島第一原発の実態から、原発再稼働反対!! 汚染水を海に流すな!! とコールしました。

昼前から始まった各ブースでの展示を見ての対話や交流、野外音楽堂での演奏やトークにも、各人の好みで参加し、知見を広げました。私は自転車漕ぎでの発電に参加し、「40W 発電の証明書」をいただき、全国に多数あるジムでの自転車漕ぎで発電し、蓄電池に貯めるようになったらいいなと提案しました。

また小田急バス労組の旗を持った人との対話で、私がいつも乗るバスの出口のポールに「自衛隊員募集」のパンフを透明な袋に入れて宣伝しているのをどう思うかとの問いに、武蔵境車庫に勤務する自衛隊出身の労働者がやっているのではないかと、組合としては反対です、との意見をいただいたことなどが印象に残りました。

武田さんのご指導で作った3mの横断幕に風抜きがなく風に煽られて危険なため、渋谷の繁華街では巻いてしまうことになり、今後の課題となりました。地方から参加の人の列車やバスの時刻の関係や横断幕の後始末で最後まで行進できずに、解散の挨拶を交わすことなく散会して大変申し訳ありませんでした。スキーヤーとして気候危機打開のための行動の第一歩を踏み出せたことを確信にして、21世紀も自然の雪でスキーが楽しめる地球をつくりましょう。(2023年9月19日 田畑健)

参加者：小川洋、出崎福男、間間至、星野、経塚茂、島崎成利、増田夫妻、兼平薫、田畑健、高橋豊明、菱沼正義、山川晃、松浦美都

宣伝資材募金 6270円いただきました。うち制作材料費として5000円を武田さんに、横断幕ポール2本代金として1000円を田畑に支払いました。